

高校1年生保護者会&懇談会を開催

両国高校構内に紫陽花咲く6月25日(土)、高校1年生の保護者会と後援会主催の懇談会が開催されました。その模様をご紹介します。

■保護者会全体会 13:30~

全体会は食堂にて開催され、大平校長先生をはじめ各先生から次のようなお話・報告をいただきました。会場を埋め尽くした保護者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。



安富先生

1. 安富先生から 「スタディサポート」結果報告

4月に実施した「スタディサポート」について、本校1年生の学力の到達度のお話がありました。また、「予習・授業・復習」の学習習慣を確立し、学力・学習習慣ともにバランスよくレベルアップすることが大切であることを強調されました。



宮内先生

2. 宮内先生から 学年積立金の予算報告

平成23年度の学年積立金予算と積立金徴収・執行計画について、ご説明いただきました。



永井先生

3. 永井先生から 生活指導

生活指導のポイントとして、服装(短すぎる制服のスカート丈など)、自転車通学の際の交通安全等について注意がありました。



大平校長先生

4. 大平校長先生のお話

7月9日に両国高校創立110周年記念式典が行われることをご報告いただいたうえで、次の2点について、お話をいただきました。

- ①中高一貫校第3期生である皆さんに、現役で希望大学に合格するよう頑張ってください。
- ②夏の節電については学校も15%削減に取り組む。ご家庭においても節電に協力いただきたい。



渋谷先生

5. 渋谷先生から 進路指導

「進路の手引き」に掲載されている卒業生の合格体験記などをもとに、「1. 授業を大切にすること 2. 早い時期から取り組むこと 3. 最後まで諦めないこと」の大切さについてお話しいただきました。特に、合格圏外にあった第一希望大学のみ合格した生徒の例をあげ、「子どもの可能性を奪ってはいけない」と話され、また、「“合格体験”は“成長体験”である」として、苦難を乗り越えて合格した生徒たちの成長ぶりなどについても熱く語っていただきました。

※ 「進路指導参考資料」、「進路の手引き」を生徒に説明したうえで配布するので、保護者の皆さんも目を通すようにとのことでした。



全体会の後、各クラスで開催された懇談会には、全体で145名（約7割）の保護者が参加しました。お菓子とお茶がクラス理事によって用意され、マイカップを持参しての茶話形式で開催されました。和やかな雰囲気の中、担任の先生とともに、中入生（附属中学から進学）と高入生（高校から入学）の保護者がお互いに情報交換しながら親睦を深め、有意義な会となりました。



A組 担任：渋谷先生 27名参加
 席をコの字型にして一人ずつ自己紹介をした後、先生との質疑応答がありました。渋谷先生からは、大変活発なクラスで、文化祭では大勢の主役を立てた劇を予定しているとのお話がありました。



B組 担任：近藤先生 33名参加
 全体で自己紹介を兼ねて子どもたちの様子等を発表する形で進行し、最後に先生からアドバイスをいただきました。近藤先生は、体育祭や両国祭のことにふれ、「おとなしくまとまったクラス」として、子どもたちの穏やかな毎日の様子をお話してくださいました。



C組 担任：永井先生 31名参加
 保護者が一人ずつ子どもについて話し、それを受けて、先生がお話してくださいました。永井先生からは全員物理選択の理系頭脳の頑張るクラスとして、期待が語られました。文化祭では模擬店を計画中で、その他「フライングペンギン」のバンド名で演奏する生徒もいるそうです。



D組 担任：宮内先生 35名参加
 理事4名の自己紹介の後、中入生と高入生が混ざるように予め先生が組んでくださった6つのグループに分かれ、グループごとに懇談。宮内先生には全グループを回って話に加わっていただきました。特に高入生の保護者の方々からの服装、成績、夏期講習等についての疑問や不安などに答える形で懇談しました。



E組 担任：安富先生 32名参加
 全体で自己紹介をした後、生活班ごとに懇談。先生には特に高入生の保護者の多い班を回って話に加わっていただきました。安富先生からは「中入生も高入生も仲が良く、まとまりのあるクラスで、生徒の反応が良いので授業がしやすい」とのお話がありました。文化祭では劇「ヤンデルとグレテル」を上演予定です。

各クラスでこんな話題も・・・

- 高入生の保護者からは、「まわりの友だちが大変やさしく親切」との話が多く出ました。
- 生活リズムについて、家庭での時間の使い方を気にかけている保護者の方々が多く、先生からは「3か月単位でリズムを作るようにしたら」という提案がありました。
- 体育の先生から身体が硬すぎるとの話があり、心身ともに柔軟さが大切なので、自宅でストレッチするよう勧められました。

その他、懇談会では、起床・就寝時間や勉強時間と遊び時間など各家庭の状況やルールなどについて情報交換が行われていました。茶話会形式の懇談会は高校1年生が最後となりますが、今後もこうした機会を設けてほしいとの声も多くあがっていました。